

辻 祥子 氏 学位審査結果の要旨

主査：中邨 智之

副査：松田 博子、螺良 愛郎

本研究は、臨床の場で四肢の痙攣を伴う筋肉痛や胃痙攣などに頻用され、その有効性が高く評価されている漢方薬である芍薬甘草湯について、ヒト妊娠子宮から採取された平滑筋への作用を詳細に検討したものである。子宮平滑筋におけるオキシトシン誘導収縮だけでなく $\text{PGF}_{2\alpha}$ 、高濃度 KCL などによる誘導収縮、自律収縮に対しても芍薬甘草湯は抑制効果を示し、その作用が芍薬ではなく甘草に起因することを解明した。本研究は、芍薬甘草湯がヒト妊娠子宮平滑筋への収縮抑制効果を示すことを明らかとした初めての報告で、その作用機序解明は今後の課題ではあるが、切迫早産の治療薬としての臨床応用への可能性を示唆する非常に有意義な研究であり、学位を授与するに値するものである。